



かわにし



小出特別支援学校川西分校 学校だより 9 平成28年12月21日(水)

2学期76日間の終了です

11月から12月にかけて、当校への入学を希望する中学3年生の体験生が大勢来校しました。緊張した面持ちながら真剣に活動する中学生の様子を見ると、1年前のことを思い出します。現在の1年生も1年前は不安げな緊張した表情で体験をしていたこと、そしてこの1年でたくさんの経験を成長したことなどをしみじみ感じます。特に2学期は大きな行事がたくさんあり、保護者の皆様にとっても、1年生だけでなくお子さんの成長を感じられた方が多かったのではないのでしょうか。様々な教育活動におきまして皆様からご協力いただき、心より感謝申し上げます。

冬休みは、家族でゆっくりできる時間があるかと思います。ぜひ親子で、お子さんの成長の様子や卒業後の生活について話し合う機会を作っていただけたらと思います。来年も夢に向かって前進する年になりますよう、よろしくお願いいたします。

～2学期の主な行事の様子～



<1年生：特体連スポーツ大会>



<3年生：修学旅行（国会議事堂前、浅草人力車体験）>



<持久走記録会>



<サービス班：ピアール活動>



<クラフト班：製品作り>



<文化祭：全校合唱>



<家庭生活：おにぎり作り>



<川高のボランティア部生徒と>

安全に過ごすために



12月23日（金）から1月9日（月）まで、18日間の冬休みになります。生徒にとっては、クリスマスやお正月など楽しい行事が続いたり、お年玉等で自由になるお金が増えたりする期間でもあります。つい気持ちが緩んだり、お金の使い方が荒くなったりすることがあるかもしれません。楽しく充実した冬休みを過ごすためにも、生活リズムを整えることや健康な食生活などを心掛けるとともに、事件・事故に巻き込まれることがないように気を付けて過ごしてほしいと願っています。

近年、特別支援学校の生徒のトラブルが報告されている例として、友人関係（悪口、仲間はずれ）、金銭（ゆすり、たかり）、性的なトラブル、勧誘（販売、宗教）などがあります。またこれらは、スマホの使い方に関連して発生したり問題が大きくなったりすることが多いです。保護者の知らないところでライン上のやり取りなどを通してトラブルに巻き込まれる怖さがあります。本人は、不安になったり怖くなったりしてもなかなか周囲の大人に言い出せない気持ちになるようです。

保護者の方の中には、定期的にスマホ等の内容のチェックをされる方もいらっしゃいます。『高校生だからプライバシーもあるし・・・そこまでしなくても。』と思われる方もいらっしゃると思いますが、まだ成長過程の子供たちです。望ましい使い方ができるようになるまで、保護者の方が責任をもってしっかりと見守りをしていただきたいです。

学校では、安全な生活を送ることができるように、危機回避の学習として以下のように指導をいたしました。ご家庭でも親子で『外出時の約束』『お金の使い方』『スマホ等の使い方』を再度確認していただきますよう、お願いいたします。

危機回避の学習（特設社会生活学習）

先週、2回に渡り危機回避の授業を行いました。通常とは異なる男女別の縦割りグループを作り、1回目は様々な勧誘や詐欺の断り方等の学習、2回目は異性との付き合い方や性被害等の学習を行いました。生徒が学習したプリントや携帯用カードなどを持ち帰りましたので、目を通していただき、ご家庭でも注意喚起をしていただくとともに、困ったこと・心配なことがあったら必ず相談するようにお伝えください。また、心配なことがありましたら、冬休み中でも学校へご連絡ください。

<指導した内容>

- 世の中に潜む危険には、どんなことがあるか。
- 危険な目に遭わないために、事前にできること・対処方法。
- 自分の身は自分で守る、危険なこと・危険ではないことの判断力。
- 家族や教師など信頼できる大人に相談する。

***大切なこと** ～困ったときは一人で抱え込まず、
信頼できる大人に相談しよう～